

令和5年度しまねきりかぶグランプリ 結果概要

島根労働局 ～切り株は、「作業者」の名刺～



しまねきりかぶグランプリ とは

チェーンソーによる伐木作業は、県内林業の労働災害の半数を占める、リスクの高い作業です。このため、島根労働局・林災防島根県支部は、「切り株は「作業者」の名刺」を合言葉に、安全に伐木作業を行う林業事業者・従事者の取組事例を募集し、優れたものを紹介する、しまねきりかぶグランプリを開催しました。今回はじめてグランプリを開催したところ、8組のご応募をいただきました。厳正な審査の結果、島根労働局長賞・林災防島根県支部長賞を決定しました。

令和5年度 しまねきりかぶグランプリ 受賞者

島根労働局長賞

【受賞者】

飯石森林組合
陶山柗真(すやま しゅうま)さん

【受賞理由】

会合線(受け口の斜め切りと水平切り重なる線)が一致、十分つる幅があるものが多く大径木を大型チェーンソーで伐倒する難しい作業にもかかわらず、丁寧に作業している様子が見て取れました。



特に、後から作業した斜面上部に行くにつれて、より丁寧に伐倒されており、今後の更なる伐採技術等の発展が期待できました。

林災防 島根県支部長賞

【受賞者】

大田市森林組合
吉川真也(きっかわ しんや)さん

【受賞理由】

会合線(受け口の斜め切りと水平切り重なる線)が一致し十分つる幅があるものが多く、特にコナラ材への追いつる切りが適切に行われていました。



全体を通して、丁寧に作業している様子が見て取れました。

応募全体への講評

初開催の今回、若い方から積極的な応募があったことは、チェーンソーの安全作業にスポットを当てるグランプリの趣旨からも素晴らしいことでした。また、応募全体を通して安全作業に十分留意した様子がみられましたが、中には会合線が一致していない、追い口を入れすぎる・高すぎる等、更なる安全への取組が求められるもの、残念ながら写真が不鮮明で審査できないものもありました。さらに、全応募者で作業計画に沿った作業が行われていた一方、作業計画の樹種や使用機械が異なる、安全対策が作業現場に合っていない等、策定した作業計画を現場実態に合わせて運用する必要がある例もありました。今回受賞された好事例や講評点を踏まえ、安全な伐木作業徹底に繋げていきます。

主催

島根労働局
林業・木材製造業労働災害防止協会島根県支部

後援

近畿中国森林管理局島根森林管理署、島根県、
公益社団法人島根県林業公社、
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター

令和5年度しまねきりかぶグランプリ
表彰式を行います

日時 令和6年3月22日【金】14時
場所 松江市向島町134番10
松江地方合同庁舎 2階
第3共用会議室 (R6.2)